

特集：釧路の地質を巡る

<中嶋 健¹⁾・小笠原正継²⁾・佐脇貴幸¹⁾・鈴木祐一郎¹⁾・棚橋 学¹⁾・金子光好³⁾・門澤伸昭³⁾・中西 敏³⁾>

北海道東部釧路地方は、1960年代頃までは釧路炭田を中心に石炭の生産が盛んで、探鉱のために数多くの詳細な地質調査が行われた地域である。その成果は多くの地質図幅や炭田図・石炭関係の報告書類としてまとめられ、日本で最も詳細な地質調査記録が残された地域の一つでもある。その後、釧路炭田の炭鉱は次々と閉山し、現在坑内掘りで稼行している炭鉱は全国でも唯一釧路コールマイン炭鉱だけになっている。しかし、東日本大震災と原発事故後、日本のエネルギー政策も転換を迫られつつあり、石炭資源が豊富に眠る釧路地方に再び脚光が当たる日も近いかもしれない。

本特集では、第1図に示す、2010年7月に浜中湾～霧多布海岸、釧路海岸、釧路コールマイン坑内および白糠丘陵周辺で行われた地質巡検に基づいて、釧路地域の白亜系から新第三系の地質の概略について最新の知見を含めてまとめ、釧路地方の地質を理解するのに好適な地質露頭と釧路コールマイン炭鉱について紹介する。2010年7月の地質巡検は産業技術総合研究所地質調査総合センターとJX日鉱日石開発(株)との共同研究の一環として行われた。本特集が、釧路地方での地質巡検を行いたい方々や、地質の概略を知りたい読者の一助となれば幸いである。



第1図 本特集で紹介する釧路地方の巡検ルート。
赤丸は2010年に地質巡検を行った地域と日程。観察したポイントをカラーポイントで示す。
詳細は本特集の各記事を参照のこと。国土地理院発行20万分の1地形図「帯広」、「釧路」、「根室」、「北見」、「斜里」、「標津」を使用。

1) 産総研 地圏資源環境研究部門
2) 産総研 地質情報研究部門
3) JX日鉱日石開発(株)

NAKAJIMA Takeshi, OGASAWARA Masatsugu, SAWAKI Takayuki, SUZUKI Yuichiro, TANAHASHI Manabu, KANEKO Mitsuyoshi, MONZAWA Nobuaki and NAKANISHI Satoshi (2012) Special issue: a geological field excursion in the Kushiro district, east Hokkaido.



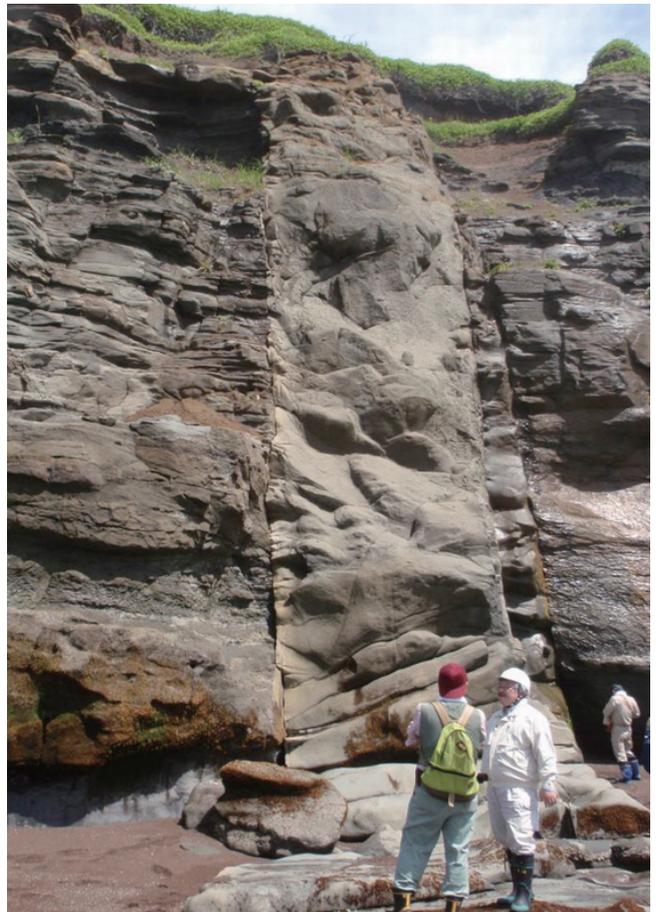
第2図 浜中町後静の根室層群厚岸層の泥勝ち砂岩泥岩互層。海底斜面の海底谷側方にできた自然堤防の堆積物と考えられる。棚橋ほか（本号 p. 357-362）の地点1.



第3図 釧路海岸の根室層群と浦幌層群別保層との不整合境界(赤線)。下位の層理のある泥岩が根室層群で、それを削りこんで別保層の礫岩が不整合で覆う。佐脇ほか（本号 p. 363-368）の地点③.



第4図 釧路町別保の採石場の別保層中の花崗岩質岩，ホルンフェルス等の礫の産状。佐脇ほか（本号 p. 363-368）の地点①.



第6図 釧路海岸の雄別層中に貫入した巨大砂岩脈「春採太郎」（釧路市文化財）。幅4.4 mあり，地震活動によって雄別層内に亀裂ができ，そこに上位の砂質堆積物が吸い込まれて形成されたと考えられている。佐脇ほか（本号 p. 363-368）の地点⑥.



第5図 釧路海岸の春採層の石炭層（中央の暗色層）。佐脇ほか（本号 p. 363-368）の地点⑤。釧路海岸沖の海底に広がる春採層の石炭層を，釧路コールマインが現在でも採掘している。



第7図 釧路市興津の釧路コールマイン構内。
石炭を積み出すベルトコンベヤーが坑口から続く。



第8図 釧路コールマイン海底炭鉱坑口前にて。
ものものしい出で立ちで地底探検にいざ行かん。



第9図 釧路市春採の釧路コールマインの選炭工場。



第10図 選炭工場内の選炭過程。
ここで大きさのそろった均質な石炭を選り分ける。



第11図 釧路港の石炭積み出し埠頭。
釧路コールマインで採掘・選炭された石炭はここで主に火力発電用として船積みされる。



第12図 釧路港の石炭積み込み機。



第 13 図 上空から見た白糠丘陵.



第 14 図 白糠丘陵東部シュンクシタカラ川沿いの根室層群と浦幌層群別保層との間の不整合境界.
中嶋ほか (本号 p. 369-375) の地点②.



第 15 図 白糠丘陵東部シュンクシタカラ川沿いの雄別断層破碎帯に沿った断層の一つ (泥岩・砂岩境界).
中嶋ほか (本号 p. 369-375) の地点④.



第 16 図 白糠丘陵東部シュンクシタカラ川沿いの舌辛層.
下部は舌辛層錦沢砂岩部層で, 化石カキ床が砂岩層中に挟まれる. 上部はユケピラ砂質シルト岩部層. 中嶋ほか (本号 p. 369-375) の地点⑤.



第 17 図 白糠丘陵東部シュンクシタカラ川沿いの採石場.
厚内層群中に貫入した安山岩岩脈中の柱状節理が見事. 中嶋ほか (本号 p. 369-375) の地点⑧.



第 18 図 白糠丘陵東部シュンクシタカラ川の厚内層群知茶布層の凝灰岩泥岩互層の大露頭. 中嶋ほか (本号 p. 369-375) の地点⑨.